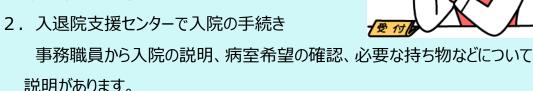
紹介患者専用受付・ 入退院支援センターを設置しました

4月1日より、「紹介患者の専用受付窓口」を正面玄関横に、「入退院支援センター」を自動精算機奥に設置いたしました。

入退院支援センターでは、入院される患者さまが安心して入院生活を送る ことができるように、看護師、薬剤師、医療社会福祉士などが連携して、入院前 から患者さまの状態を把握し、退院後の生活までを見据えて支援していきます。

◆予約入院患者さまの流れ

各外来で入院予約
医師により入院の予約がされます。手術・検査・
中止薬がある場合は説明があります。



3. 看護師による面談

病歴や入院までの経過、日常生活の様子、内服などの確認をさせていた だきます。入退院に関する不安や相談にも応じます。

面談の内容によっては、薬剤師、管理栄養士、医療社会福祉士、認定 看護師などとも相談が可能です。

市民病院ニュース 第46号 発 行 日:令和元年6月1日

発 行 部 数 : 3 0 0 部

発行元 :稲沢市民病院患者サービス・広報委員会

電 話 : 0587-32-2111 FAX: 0587-32-2151

E-mail: hospital@city.inazawa.aichi.jp

市民病院





レスパイト入院をはじめました

稲沢市民病院では、在宅療養されている患者さまのご家族を支援するために、 レスパイト入院 の受け入れを行っています。

レスパイトとは、「休息」という意味で、介護の必要な高齢者や障害のあるかたの家族が、冠婚葬祭や体調不良で一時的に在宅介護が困難になった場合に、介護するかたに代わり、当院で一時的に期間を定めて入院の受け入れをおこなう制度です。



■ 1回の入院期間は1~2週間です。 (2回目以降は、前回の入院から3ヶ月経過後)

- ■レスパイト入院中に、症状が急変して治療が必要になった場合には、急性期 病棟に転棟することがあります。
- 入院の際には、現在内服中のお薬、お薬手帳、医療保険証、限度額認定証が必要になります。※レスパイト入院は、医療保険が利用できます。

お問合せは

稲沢市民病院 地域医療連携室

電 話:0587-32-2111 FAX:0587-33-5022 まで

出張出前講座をおこなっています

令和元年5月10日、エムズシティダイヤモンドクラブから「高齢を迎えた会員の健康管理」のご依頼を受けて出張出前講座に伺いました。

当院の理学療法士が健康維持のために高齢のかたが日常生活で気をつけるべきことや、家庭でもできるストレッチや筋カトレーニングを紹介し、実際に参加者のかたが自分の身体を動かしました。

当院では、地域で健康づくりの啓蒙活動を行っておりますので、ご要望がありましたら、市民病院管理課までお問い合わせください。





車椅子の取り扱い講習を実施しました

平成31年4月12日に、新たに病院に勤務する職員を対象に車椅子の取り扱い 講習を実施しました。

参加者は、看護師から車椅子の乗り方や進め方、段差やエレベーターでの 操作方法について説明を受けた後、2人1組で実際に車椅子を操作しながら、 使い方の実技指導を受けました。

稲沢市民病院では、安全な医療の提供と医療の質の向上を目指して、職員の知識・技術の研鑽に日々努めています。





ご意見箱にいただいた投書より

- 病院内に簡易ロッカー室を設置してください。来院前に買い物をした 時などは、一時預かりをしてもらえるところがあると便利です。
- → 病院の防犯上の都合から、現在のところはロッカー室の設置は考えて おりません。ご理解をお願いいたします。
- 先生をはじめ、看護師・スタッフのみなさまに温かいお心遣いを いただき、2泊3日の入院を楽しく過ごせました。
- → あたたかいお言葉をいただき、ありがとうございます。 スタッフ一同、とても励みになります。これからも 安心できる医療の提供に努めます。

ご意見箱は、1階玄関前・売店前、各病棟のデイコーナーに設置して あります。お気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください。

「稲沢市民病院・稲沢消防合同研修会」 を開催しました

令和元年5月9日(木)、当院の講堂にて「トリアージ」をテーマにした稲沢市消防本部との合同研修会を開催しました。

「トリアージ」とは、患者の重症度を判別して 治療の優先度を決定することで、災害時など多数 の負傷者が発生した救命現場で行われます。

今回の研修は趣向を凝らし、スマートフォンを 使ったクイズ形式で行われました。

研修には、病院からは医師や看護師など、消防 本部からは救急救命士などが参加して、救命時に 必要となるトリアージの知識を再確認しました。



